

東京の生協のまちづくり活動トピックス

都内8つの自治体別まちづくり活動に加えて、葛飾区・豊島区・三鷹市の3つの自治体で新たなつながりが生まれています。今回は、2つ以上の生協と地域の団体が協力して取り組んだ豊島区と三鷹市の企画を紹介します。

参加生協名：東京保健生協・東都生協

としま見守りフレンズ

平和や環境、健康のことまで楽しく学べる 「夏休み子ども体験教室」を 東京保健生協の診療所で開催！

8月5日(土)東京保健生協鬼子母神診療所で開催した、夏休みの自由課題にも役立つ楽しいイベント「夏休み子ども体験教室」に子ども24名、保護者13名の参加がありました。開催にむけて、生協をはじめ、社会福祉協議会、地域の子どもの食堂、町会やラジオ体操会場などで幅広く参加を呼びかけ、多くの方にご参加いただきました。

“ワークショップきれいな海を描こう”では、海に捨てられたゴミが自然に与える影響について考え、きれいな海を描くフォトフレームアートを図工の先生に教えていただきました。平和を考えるコーナーでは、紙芝居と絵本の読み語りを真剣に聞いて、戦争について学ぶ子どもたちの姿が見られました。歯科コーナーでは、歯科衛生士から飲み物やお菓子にどれくらい糖分が含まれているのか、糖分の取りすぎが歯や健康に与える影響を教えてくださいました。そしてお楽しみ企画、豊島区民社協コーナーのおもちゃのつかみ取りと手づくりガチャガチャに子どもたちは大喜びでした。さらに、東都生協の試食イベント車も参加して、米粉で作ったキャベツ焼きを試食として提供し、お米のおいしさと食の大切さをアピールしました。

今回は、豊島区民社協のご紹介で、日本女子大学から学生ボランティア6名にも参加していただき、工作のお手伝いや平和コーナーの読み語りを担当していただきました。



フォトフレームアート作り



紙芝居に初チャレンジ



おもちゃのつかみ取り



どれが一番甘い？



きれいな海できた！



東都生協の試食イベント車

参加生協名：パルシステム東京・東都生協・北多摩中央医療生協

三鷹をつなげようプロジェクト

「防災」をテーマに三鷹でつながりをつくりたい！



グループワークの様子

三鷹市内で地域の団体や生協が知り合い、非常時に助け合える関係をつくるために、7月26日(水)に、三鷹市民協働センターにて「みたかde”ぼうさい” with Mitakaみんなの防災」を開催しました。

前半は、三鷹市を中心に地域全体の自助と共助の防災力向上を目指して活動している特定非営利活動法人「Mitakaみんなの防災」事務局の大倉誠さんの講演と、生協の防災の取り組み、地域で活動する団体の取り組みについて、学び合いました。



講師の大倉誠さん

大倉さんの講演では、近年言われている首都直下地震の緊迫性や、多摩直下地震が起きた時の被害想定に加え、生き残るために大切な災害発生時の命の守り方、日ごろの備え方などのお話をいただきました。また、「Mitakaみんなの防災」が日ごろ取り組んでいる、機会があるごとに防災に興味がない人を掘り起こす「意識啓発」、共助に参加してくれる人を育てる「人材育成」、防災活動団体や防災に興味がある団体を支援する「活動支援」、ネットワークをつくる「活動実践・ネットワーク化」を通じた、種まきから「共助の森」を作る活動そのものが、これからの三鷹での防災をテーマにしたつながりづくりのヒントとなりました。「自助で無事でない限りは、共助の活動はできない」「自助ができていないと、共助に加わるどころか、誰かに助けてもらうことになる」と、つながりづくりで共助を進めていこうとしている私たちへの大事なメッセージもいただきました。

参加団体の防災取り組み紹介では、生協の組合員に防災意識や関心を持ってもらえるよう、機関誌で定期的に防災特集を取り上げていることや、配送センターでの図上訓練の実施、生協でおすすめしている防災用品を自分自身でも実際に使ってみて在宅避難体験をされた時の経験談などの報告もありました。また参加された町会長さんからは、三鷹市の町会防災イベントの取り組みについてもお話いただきました。

後半は、大倉さんのコーディネートで「わたしにできること・あなたにできること・そして一緒にできること」をテーマに、グループワークを行いました。

参加された方からは「改めて日常から防災を意識することや、助け合える関係づくりが大切なことが分かった。」と嬉しい感想をいただきました。



司会：君塚さん 開会挨拶：柳澤さん
(北多摩中央医療生協)



榎本さん 白井さん 安村さん 竹上さん
(パルシステム東京) (東都生協) (東京都生協連) (井の頭一丁目町会)